

【議事概要】第2回次世代交通ビジョンおきなわ（仮称）策定本部会議

日 時： 令和8年3月26日（木）10：00～11：00

場 所： 県庁6階第2特別会議室

参加者： 知事、副知事、政策調整監、各部局長
（企業局、出納事務局、各種委員会除く）

要 旨：

1 開会挨拶

開会にあたって、本部長（玉城知事）から開会の挨拶があった。

2 議題1 正式名称の決定について

これまで仮称としていた本取組について、県民への認知度や分かりやすさを考慮し、正式名称を、仮称をとった「次世代交通ビジョンおきなわ」とすることが決定された。

3 議題2 骨子（案）について

(1) 事務局からの説明

事務局より、ビジョン策定のプロセスと現在の進捗、県民意見の収集内容、意見を踏まえた骨子（案）について、資料を元に概要説明があった。

(2) 委員からの意見

- ① **市町村・ステークホルダーとの連携**：市町村の意向も重要であるため、来年度のワークショップやヒアリングを通じて意見を反映させるべきとの意見があった。
- ② **既存計画との整合性**：「沖縄21世紀ビジョン」や「都市交通マスタープラン」等の関連計画とどのように整合性をとり、詳細化していくのかについて確認が行われた。また、21世紀ビジョンの将来像が次世代交通ビジョンおきなわの未来像とどのように関連しているのか構成を示すことや、次世代交通ビジョンおきなわの検討が21世紀ビジョン基本計画へどのように反映されているかを示していただきたいとの意見があった。
- ③ **環境と離島への配慮**：気候変動についてその大きな要因となる二酸化炭素排出（沖縄県では運輸部門が要因）の増加が高まることへの視点を盛り込むことや、人口減少や高齢化が進む離島住民の声の収集が不足しているため、ステップ2以降ではより丁寧に拾い上げる工夫が求められた。
- ④ **経済活動への影響等**：渋滞が企業活動や雇用、通勤等に与える影響を踏まえ、経済団体からの意見を拾い上げることの意見、GW2050との連携を行う必要があるとの意見があった。
- ⑤ **実効性の確保**：ビジョンを単なる「絵」に終わらせず、実行のための組織体制や技術的な検討、具体的な取組の「見える化」をステップ2から進めるべきとの要望があった。

4 結び

本部長（知事）から、交通は教育、商工、農水などあらゆる分野に関わるため、全

庁一丸となって各部局の議論をビジョンに埋め込み、具体的な方向性を打ち出していくよう協力依頼があり、閉会した。

以上。